

令和元年度 自己評価結果公表シート

学校法人 森内学園
幼保連携型認定こども園
花園幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・健康・安全で幸福な生活のため基本的な生活習慣・態度を育て、健全な心身の基礎を培う。
- ・人への愛情や信頼感を育て、自立と共同の態度および道徳性の芽生えを培う。
- ・自然などの身近なことへの興味や関心を育て、豊かな心情や思考力の芽生えを培う。
- ・日常生活の中で、言葉や数に対する興味や関心を育て、喜んで話したり聞いたり考えたりする力を培う。
- ・多様な体験を通じて豊かな感性を育て、創造性を豊かにする。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・幼保連携型認定こども園として、これからの子どもの育ちをとらえ、教育・保育・子育て支援の全体的な計画を立案し、1年間の基本的な取り組みについて職員・保護者と共通理解をはかる。
- ・幼保連携型認定こども園として、移行に際して改装した2歳児保育室を含め、子ども達にとってより良い教育・保育環境の構成を考える。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
教育課程・指導計画の作成	<ul style="list-style-type: none">・幼保連携型認定こども園として、これからの子どもの育ちをとらえ、教育・保育・子育て支援の全体的な計画を立案し、1年間の基本的な取り組みについて職員間の共通理解をはかった。・毎月1回、園長・主幹保育教諭・各学年主任のもと教育・保育計画について話し合い、各学年ごとに指導計画を作成した。幼児の主体性を尊重し、幼児の成長を一番に考え指導計画を作成することができた。
施設・設備	<ul style="list-style-type: none">・2歳児保育室については、保育をしていくうえで必要となったものを適時改修および追加した。・園庭に設置していたブロック塀を老朽化のため撤去し、耐震性を考慮し、新たにフェンスを設置した。

教育・保育環境の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・園児が意欲的かつ主体的に園生活および活動に取り組めるよう努めた。意欲的に取り組んだ結果、園児が自信を持って行動できる機会を数多く用意し、安全や衛生面を留意して安心して活動できるように努めている。
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者総会並びに、定期的に個人懇談会・参観等を実施し、園児・保護者・保育者の信頼関係の構築に努めている。 ・保育のねらい・教育効果等について、保護者に理解を深めて頂くために、園だより・お知らせ等について詳細に記載するとともに、行事等の際には、現在の園児の様子や取り組み等ができる限り詳細に説明を実施した。 ・後援会との連携を密にし、会議においては園の考え方や取り組み、子どもの育ち等を詳しく説明し、後援会活動に協力いただけるように努めた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>自己点検・自己評価の結果をふまえ、チェックリストを改訂した。その結果、昨年度以上に園全体で取り組むべき課題や職員個々の課題について把握することが出来た。</p> <p>その結果、職員が一丸となって、幼保連携型認定こども園として、これからの子どもの育ちをとらえ、教育・保育計画の達成への取り組みについて共通理解を深めることができた。さらに、職員が幼児教育・保育に、充実感・やりがい・喜びを大いに感じられる様一人一人が高い意識を持ち取り組むことが出来るようになった。</p> <p>また、本年度も、全保護者へのアンケートを年度末に実施した。その結果、保護者のニーズ・本園において今後取り組んでいく課題を明確に把握することができ、より一層の教育効果の向上・保護者の満足度の向上が期待される。</p> <p>自己評価、アンケート結果、学校関係者評価委員会・保護者からのご意見について話し合うことを通して、今後の課題への取り組みを職員が共有することができ、職員が一丸となって今後の課題へ取り組むことによって、より一層の教育効果向上と保育の充実を図ることが出来る。</p>

5. 今後取り組むべき課題

<ul style="list-style-type: none"> ・さらに、職員間で、幼保連携型認定こども園として、これからの子どもの育ちをとらえて共通理解を深めるとともに、教育・保育計画の作成についてさらに見直しを進め、教育効果の向上・保育の質の向上に努める。 ・2歳児の適切な保育計画を立て、3歳児以降の育ちにつなげるとともに、園児の個々の特性、家庭環境等子どもの実情をさらに把握し、それをベースにして、日々の教育・保育を計画し実践していく。 ・職員が個々の課題を見据え、研修に取り組みやすい様環境を構築していく。また、保育者がお互いの保育を参観する等の園内研修の機会をさらに確保するとともに、あらゆる角度から教育・保育の技術向上のため、より一層研修に努める。

6. 学校関係者の評価

- ・令和2年9月に学校関係者評価委員8名の方に、「令和元年度自己点検・自己評価」・「令和元年度保護者アンケート」の結果をもとに学校評価を実施して頂きました。
なお、本年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止対策の一環といたしまして学校評価委員会は書面にて開催をいたしました。その結果、委員の方々からは、おおむね自己評価については妥当であると評価頂きました。

学校評価委員様より頂いた主なご意見

- ・保護者アンケートの回収率に関してもう少し回収率が上がるように努力していただくことを期待しています。
- ・今後とも園児が園生活をのびのびと過ごせるように日々努力と工夫を継続していただけるようお願いいたします。
- ・自己評価については、一定のばらつきがあるのは経験年数等の違いを考慮すれば当然のことと感じます。子どもたちとしっかり向き合い日々保育に取り組んでおられると思います。評価が低かった方が今後1ランクでも上の評価になれるよう、職員同士がチームで支えあい、より一層の質の向上を目指してください。
- ・多岐にわたる観点にも配慮され、日々安定した教育・保育を提供していただいていることに改めて心より感謝しています。

7. 財務状況

当園は毎年、年3回、公認会計士による監査を実施致しております。本年度も適正に運営されていると認められています。